

# ご利用の手引き

## 取り引きのお申し込み

最寄りの営業所・営業拠点までご連絡いただければ営業員がお伺いし、ご依頼の詳細についてご説明・ご相談させていただきます。ご連絡の際は裏表紙の営業所・営業拠点一覧をご参照ください。

## 検査のご依頼方法

### 1. 依頼書

それぞれの依頼項目に適合した依頼書をご使用ください。なお、「病院控」伝票に診療報酬点数(実施料および判断料区分)を掲載していますので、院内伝票としてご利用ください。

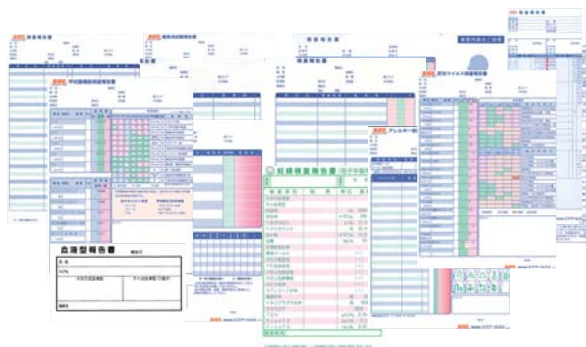
- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 総合依頼書         | 6. 細胞診検査依頼書 |
| 2. 感染症アレルギー検査依頼書 | 7. 同一項目依頼書  |
| 3. 細菌検査依頼書       | 8. 一覧依頼書    |
| 4. フリー依頼書        | 9. その他      |
| 5. 病理検査依頼書       |             |



### 2. 報告書

それぞれの依頼検査に適合した報告書にてご報告いたします。

- |                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 検査報告書                 | 8. 染色体検査報告書     |
| 2. ウイルス肝炎検査報告書           | 9. HLA検査報告書     |
| 3. 糖負荷試験報告書              | 10. アミノ酸分析報告書   |
| 4. TUMOR MARKER検査報告書     | 11. 免疫電気泳動検査報告書 |
| 5. アレルギー検査報告書            | 12. 細胞診検査報告書    |
| 6. 遺伝子検査報告書              | 13. その他         |
| 7. Two-Color Analysis報告書 |                 |



## 特定感染症患者の検体受託について

当社の受託体制および感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)等により、下記に該当する感染症確定者、疑似症状者、無症状病原体保有者の検体については、受託することが出来ません。予めご了承ください。

### 【特定感染症】

- ・ 1 類感染症  
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱およびラッサ熱のウイルス性出血熱、ペスト、マールブルグ病
- ・ 重症急性呼吸器症候群(SARS)

## 料金請求とお支払い方法

継続してお取り引きいただくお客様は、1ヵ月分をまとめてご請求申し上げます。お支払い方法は、ご契約に従ってお願いいたします。その他の場合は、原則としてご依頼時にお支払いください。なお、領収書につきましては、お振込みの際の振込金受領書をもちまして領収書に代えさせていただきます。領収書のご要望がございましたら、営業員にお申し付けください。

## 検体のご提出と搬送方法

担当者が、ご指定の場所へ定期的に集配に伺います。

当社へ直送される場合は、依頼票と検体を保存条件別(連結・冷蔵・室温)に当社の発泡スチロール製搬送ボックスに納めて下記宛にお送りください。

〒 485-0072 愛知県小牧市元町二丁目 186 の2 エスアールエル愛知ラボラトリー

貴院の集配は \_\_\_\_\_ 曜日 \_\_\_\_\_ 時頃 \_\_\_\_\_ へお伺い致します。

お預かり致しました検体と伝票は、\_\_\_\_\_ 時頃(平均搬送約 \_\_\_\_\_ 時間) 当社に搬入されてきます。

当社では、お預かりした検体の搬送精度向上のために、断熱材入りの専用検体搬送ボックスに専用の蓄冷剤と蓄温剤を用いて搬送しております。



真空断熱材入り検体搬送ボックス



室温検体搬送用(オレンジ)・冷蔵検体搬送用(ブルー)

## 測定実施場所および測定委託先

備考欄に&印が無い項目については、当社愛知ラボラトリーにて測定実施しております。&I、&A、&J、&K、&E、&D、&L、&Wの項目については、当社下記ラボラトリーにて測定実施しております。

その他の&印の項目については、当社より下記会社へ測定委託しております。

記号	エスアールエル測定実施場所	検体搬送時間	記号	測定委託先	検体搬送時間
&I	エスアールエル八王子ラボラトリー	6時間以内	&Q	Athena Diagnostics	2～3日以内
&A	エスアールエル第3八王子ラボラトリー	7時間以内	&V	株式会社Oncomics	36時間以内
&J	エスアールエル遺伝子・染色体解析センター		&T	ミルスイインターナショナル	
&E	エスアールエルMUQSラボラトリー	&C	長崎大学		
&D	エスアールエル羽村ラボラトリー	9時間以内	&A	シノテスト サイエンス・ラボ	
&L	エスアールエル相模原ラボラトリー	9時間以内	&M	江東微生物研究所	18時間以内
&W	エスアールエル福岡ラボラトリー	36時間以内	&F	GENOMIC HEALTH, INC.	2～3日以内
記号	測定委託先	検体搬送時間	&O	日本医学臨床検査研究所	36時間以内
&C	あすか製薬メディカル	9時間以内	検体搬送時間：当社愛知ラボラトリーから委託外注先までの検体搬送時間		
&E	北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所				
&H	ピーシーエルジャパン	12時間以内			
&I	ファルコバイオシステムズ 東京研究所	9時間以内			
&K	Quest Diagnostics Incorporated(QD)	2～3日以内			
&M	LSIメディエンス	9時間以内			
&N	ビー・エム・エル				

## ご依頼検体の保管期間

お預かりした検体は、依頼日より3週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしております。ただし、末梢血液検査など一部の検査につきましては1週間保管とさせていただきます。なお、保管期間を過ぎた検体につきましては、当社で処分させていただきます。また、当社から測定委託する項目につきましては、測定委託先の基準に基づいて保管させていただきます。

## 検査業務概況のご報告

当社の検査業務の概況は、当社のホームページなどで、関係各位にご報告しております。これは受託情報等を統計資料としてご提供するもので、検査精度を検証することに役立つほか、公衆衛生疫学等のご参照にも資されております。

## RIA測定項目のご依頼にあたっての注意事項

シンチグラフィー等でin vivoに投与したアイソトープが残存するとRIAでの異常値発生の原因となることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 免責について

ご依頼いただきました検査は当社検査実施基準に基づき行われますが、お預かりした検体の状態、または検査方法の技術的境界等により検査結果を臨床診断に資することが困難な場合があります。この場合当社はその検査結果に対し免責とさせていただきます。

## 再検査

当社再検査基準に基づき再検査をいたします。

検査必要量に満たない検体量でのご依頼の時には、再検査ができない場合があります。

# ご利用の手引き

## 依頼書の記入要領

- ・氏名、性別、年齢、診療科及び採取日などがご記入いただく箇所です。
- ・氏名、診療科、提出医欄については必ずカタカナでご記入ください。
- ・性別、入院・外来については該当するものをチェックしてください。
- ・ご依頼項目は、チェック欄に／印をご記入ください。
- ・記載されていない項目をご依頼の場合は、欄外項目欄に項目名、検査方法をご記入ください。
- ・蓄尿量、蓄尿時間、身長、体重等を必要に応じてご記入ください。
- ・依頼日、採取日、採取時間等もご記入ください。

### 〈記入例〉

他の依頼書も基本的な記入要領は同様です。

## 検体容器について

検体容器については、①～④⑤ページの「容器の取り扱い方法」をご参照ください。

## 検体ラベルについて

検体ラベルには、氏名、性別、および年齢をご記入し、各材料の提出容器に貼ってください。

## 総合検査案内掲載内容

- 検体量**：検体量は再検査分を考慮して設定しております。  
血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採血してください。(検体採血方法は①ページをご参照ください)
- 保存**：指定の保存方法にてご提出ください。  
凍結 必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。
 冷蔵 冷蔵(2℃～15℃)で保存してご提出ください。
 室温 必ず室温(16℃～30℃)で保存してご提出ください。
- 基準値**：「正常参考値および判定基準」は当社では「基準値」で表示しております。
- 所要日数**：原則的には検体をお預かりした翌日を起算日とし、結果をお客様のお手元へお届けするまでの日数(通常の土曜・日曜日を含みます)です。再検査の場合や祝祭日の前後は、さらに若干の日数を要することがあります。  
なお、記載されている材料以外でのご依頼の場合や、凍結マークの項目との同時のご依頼の場合は、表示日数より遅れることがあります。
- 実施料・判断料**：検体検査料は検体検査実施料と、検体検査判断料に区分されています。

検体検査判断料					
	判断料	判断料区分		判断料	判断料区分
1. 尿・糞便等検査判断料	34点	※1	4. 生化学的検査(Ⅱ)判断料	144点	※4
2. 血液学的検査判断料	125点	※2	5. 免疫学的検査判断料	144点	※5
3. 生化学的検査(Ⅰ)判断料	144点	※3	6. 微生物学的検査判断料	150点	※6

病理診断 …… ※7			
組織診断料	450点	病理判断料	150点
細胞診断料	200点		

- 採取条件**：検体を適正に採取するために、検体採取時に留意していただきたい事項です。(備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。)
- 提出条件**：血清分離の要否など、適正な検査・測定を行うために必要な事項です。(備考または容器の取り扱い方法をご参照ください。)
- 速やかに遠心 採血後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。
- 冷却遠心 低温(4℃)にて遠心分離してください。
- 緊急報告検査値範囲** 緊急：緊急報告検査値範囲(①ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
- 予約検査** 予約検査：予約検査となりますので、検体採取前に必ず最寄りの営業所・営業拠点へご連絡ください。
- 曜日指定** 曜日指定：指定曜日のみ(休日除く)受託可能となりますので、ご注意ください。受託可能日につきましては、本文の備考欄をご参照ください。
- 参考文献**：検査方法についての基本的な参考文献です。(エ～ト ページ参照)

# ご利用の手引き

## マーク一覧

受付・報告関連	予約検査		予約検査となりますので、検体採取前に必ず最寄りの営業所・営業拠点へご連絡ください。
	曜日指定		指定曜日のみ(休日除く)受託可能となりますので、ご注意ください。受託可能日につきましては、本文の備考欄をご参照ください。
	緊急		緊急報告検査値範囲(①ページ参照)が設定されておりますので、範囲を超えた場合には、当社より緊急連絡させていただきます。
	ヒト倫理		ヒト遺伝子倫理指针对象項目となりますので、ご依頼につきましては、⑧ページをご参照ください。
	PGx		ファーマコゲノミクス(PGx)対象項目となりますので、ご依頼につきましては、⑨ページをご参照ください。
	海外		最終委託先が米国のため海外搬送となります。検体の返却等はできませんので、あらかじめご了承ください。
	重複不可		他項目との重複依頼は避けてください。
検体取り扱い	速やかに遠心		採血(採尿)後、長時間の室温放置は避け、速やかに遠心分離してください。遠心分離までに時間指定のある項目や、前処理、遠心分離前に冷却を必要とする項目等もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法も併せてご参照ください。
	冷却遠心		低温(4℃)にて遠心分離してください。
	凍結		必ず凍結(-10℃以下)保存してご提出ください。
	冷蔵		冷蔵(2℃~15℃)で保存してご提出ください。 なお、長期間にわたって保存される場合は、凍結して下さるようお願いいたします。ただしマークのついている項目は、長期間であっても凍結しないでください。
	室温		必ず室温(16℃~30℃)で保存してご提出ください。
	遮光		直射日光または蛍光灯等を避け、遮光した容器にてご提出ください。
検査値への影響	溶血不可		溶血検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	不活化不可		不活化(非動化)検体は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	酸性蓄尿不可		酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。
	凍結不可		凍結(-10℃以下)保存は検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けてください。

## 主な単位記号

L	liter	M	mol/L
dL	deciliter(=0.1L)	mmol	millimole(=0.001mol)
mL	milliliter(=0.001L)	μmol	micromole(=10 <sup>-6</sup> mol)
μL	microliter(=10 <sup>-6</sup> L)	nmol	nanomole(=10 <sup>-9</sup> mol)
fL	femtoliter(=10 <sup>-15</sup> L)	pmol	picomole(=10 <sup>-12</sup> mol)
kg	kirogram	fmol	femtomole(=10 <sup>-15</sup> mol)
g	gram	mm	millimeter
mg	milligram(=0.001g)	mm <sup>2</sup>	squaremillimeter(平方ミリメートル)
μg	microgram(=10 <sup>-6</sup> g)	mm <sup>3</sup>	cubicmillimeter(立方ミリメートル)
ng	nanogram(=10 <sup>-9</sup> g)	μ <sup>3</sup>	cubicmicron(立方マイクロ)
pg	picogram(=10 <sup>-12</sup> g)	Meq	megaequivalents
U	unit	mEq	milliequivalent
mU	milliunit(0.001U)	mOsm	milliosmole
μU	microunit(10 <sup>-6</sup> U)	%	percent
IU	international unit	‰	permill
mIU	milliinternational unit(=0.001 IU)	cpm	counts per minutes
AU	arbitrary unit	U <sub>A</sub>	unit allergen

## 検査項目欄の見かた

検査をお預かりした翌日を起算日とし、結果をお届けするまでの日数です。再検査の場合や祝祭日の前後はさらに日数を要することがあります。

実施料、判断料区分です。※については5ページをご参照ください。●については保健点数算定上の、同時算定不可、回数制限の算定条件を抜粋して欄外に掲載しています。

項目コード	検査項目	項目略称	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
000102	総蛋白(TP)	JLAC10	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (1ヵ月)	1~3	① 11 ※3	Biuret法	6.7~8.3 (g/dL)	
000302	アルブミン(Alb)	3A010-0000-023-271	血清 0.5	S09 ↓ A00	冷蔵 (21日)	1~3	① 11 ※3	BCP改良法	3.8~5.2 (g/dL)	ヒトアルブミンと特異性の高いBCPと反応させる方法です。
000405	尿中アルブミン	3A015-0000-004-061	蓄尿 0.5	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~5	③ 105 ※1	免疫比濁法	2~20 (mg/day)	㊦
000554	尿中アルブミン (クレアチニン換算値)	3A015-0000-001-061	部分尿 1	U00	冷蔵 (1ヵ月)	2~5	③ 105 ※1	免疫比濁法	尿中アルブミン換算値 10.0以下 (mg/g・CRE)	㊦

ご提出いただく検体の提出条件・提出量です。血清または血漿の場合、必要量の約3倍を目安に血液を採取してください。

ご提出いただく検体の保存条件です。採血後の保存条件ではありませんのでご注意ください。( )内の安定性とは検体の保存可能時間の目安を記載しています。

検査ご依頼にあたっての注意事項です。

検査方法名です。検査方法の概略につきましてはア~ウ ページをご参照ください。

採取容器  
↓  
提出容器  
を示します。

容器の取り扱いについては下記の例をご参照ください。また、取り扱い方法に条件がある項目もありますので、備考欄または容器の取り扱い方法もご参照ください。

### (例1) 検体が血清の場合

検体量 (mL)	容器
血清 0.5	S09 ↓ A00

汎用容器(S09)に血液を採取し、遠心分離後、血清0.5mLを別容器(A00)に移し替えてご提出ください。血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取してください。

### (例2) 添加剤入り容器に採取し、遠心分離後、上清をご提出いただく場合

検体量 (mL)	容器
血漿 0.5	PN2, PN5 ↓ A00

当社専用容器(PN2, PN5)に血液を採取し、遠心分離後、血漿0.5mLを別容器(A00)に移し替えてご提出ください。血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取してください。

### (例3) 検体が添加剤入りの血液の場合

検体量 (mL)	容器
血液 5.0 (EDTA-2Na加)	PN7

当社専用容器(PN7)に血液5.0mLを採取し、よく混和させ、そのままご提出ください。採取および提出とも同一容器(PN7)で、別容器への移し替えは不要です。

# ご利用の手引き

## 倫理指针对象項目のご依頼にあたり

当社では「遺伝学的検査受託に関する倫理指針」（一般社団法人日本衛生検査所協会）ならびに「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に基づき、「SRL遺伝子倫理ガイドライン」を策定し、前記指針に則った受託を行っております。

### ●診断目的で検査をご依頼いただく場合

- ・検査実施にあたりましては、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」（日本医学会）等のガイドラインを遵守させていただきますようお願いいたします。
- ・対象の項目をご依頼いただく際は、遺伝学的検査受託専用の「倫理指針準拠依頼書」をご利用くださいますようお願いいたします。

## ■倫理指針準拠依頼書

「倫理指針準拠依頼書」では、検査の目的や限界などが説明され、被検者の自由意思による同意(インフォームド・コンセント)が得られていること、および被検者に対して事前の遺伝カウンセリングが適切に行われたことを、ご担当医の署名により確認させていただきます。

また、個人情報保護のために、被検者氏名の代わりに匿名化符号をご記入いただきますと、当社では匿名化符号をもちまして検査を実施いたします。(氏名およびカルテNo.欄を設けておりますが、当社控への伝票には複写されないように処理しております。)

### ●ヒトゲノム・遺伝子解析の研究としてご依頼の場合

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に則った研究につきましては、別途契約締結のうえ検査をご依頼くださいますようお願いいたします。ご契約につきましては、最寄りの営業所・営業拠点にお問い合わせください。

## ファーマコゲノミクス(PGx)検査項目のご依頼にあたり

当社では、「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(下記)の主旨に沿い、薬物の効果や副作用の予測補助として臨床の現場で行われる遺伝学的検査につきましては、これを「ファーマコゲノミクス検査(PGx)」として、単一遺伝子疾患の診断に利用される遺伝学的検査とは区別した受託を行っております。関連ガイドラインから抜粋致しました下記の留意点をご一読いただき、検査実施にあたりましては、ガイドラインの原本をご参照くださいますようお願いいたします。

### 「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(日本医学会 2011年2月)

#### 3.遺伝学的検査の留意点 3-4)薬理遺伝学検査

ゲノム薬理学検査に含まれる薬理遺伝学検査[注5]は、生殖細胞系列の遺伝情報を取扱うものであるが、以下の特性があるため、単一遺伝子疾患の遺伝情報とは異なり、診療の場においては、関連ガイドライン[注5]を参照した上で、通常の診療情報と同様に扱うことができる。(略)

[注5]；「薬理遺伝学検査」を「ゲノム薬理学の一部であり、薬物応答と関連するDNA配列の変異に関する研究」と定義している。(略)これらの検査に関連した指針等には「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」および「ゲノム薬理学を適用する臨床研究と検査に関するガイドライン」がある。

### 「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」(日本臨床検査医学会・日本人類遺伝学会・日本臨床検査標準協議会 2012年7月)

#### 3.個人の遺伝情報の保護

現在、単一遺伝子疾患の診断を目的とした遺伝学的検査では匿名化や親展報告書などにより、個人情報保護されている。PGx検査の実施においても、単一遺伝子疾患が考えられる場合は、医療機関等において、各種安全管理措置(略)を講じた上で、個人情報の保護は「匿名化」にて運用する。

ただし、単一遺伝子疾患が考えられる場合でも、原則として、健康障害をもたらさない場合は、匿名化の必要性や電子カルテあるいは紙カルテでの取扱い方はその限りではない。



# ご利用の手引き

## 包括項目

### ■出血・凝固検査(■)

Dダイマー定性 プラスミンインヒビター(アンチプラスミン) von Willebrand因子(VWF)活性 Dダイマー半定量 $\alpha_2$ -マクログロブリン PIVKA-II Dダイマー 凝固因子インヒビター von Willebrand因子(VWF)抗原	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC) プロテインS活性 プロテインS抗原 $\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG) 血小板第4因子(PF4) プロトロンビンフラグメントF1+2 トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT) トロンボモジュリン フィブリンモノマー複合体	凝固因子(第II因子、第V因子、第VII因子、第VIII因子、第IX因子、第X因子、第XI因子、第XII因子) プロテインC抗原 tPA・PAI-1複合体 プロテインC活性
■3項目又は4項目 5項目以上	530点 722点	

### ■血液化学検査(★)

総ビリルビン 直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン 総蛋白 アルブミン 尿素窒素 クレアチニン 尿酸 アルカリホスファターゼ(ALP) コリンエステラーゼ(ChE) $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ( $\gamma$ -GT) 中性脂肪 ナトリウム及びクロール カリウム カルシウム マグネシウム	クレアチン グルコース 乳酸デヒドロゲナーゼ(LD) アミラーゼ ロイシナムミノペプチダーゼ(LAP) クレアチンキナーゼ(CK) アルドラーゼ 遊離コレステロール 鉄(Fe) <small>血中ケトン体・糖・クロール検査(試験紙法・アンブル法・固定化酵素電極によるもの)</small> 不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法) 総鉄結合能(TIBC)(比色法) リン脂質 HDL-コレステロール 無機リン及びリン酸	総コレステロール アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST) アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT) LDL-コレステロール 蛋白分画 銅(Cu) リパーゼ イオン化カルシウム マンガン(Mn)
★5項目以上7項目以下 8項目又は9項目 10項目以上	93点 99点 112点	

### ■内分泌学的検査(●)

成長ホルモン(GH) 卵巣刺激ホルモン(FSH) C-ペプチド(CPR) 黄体形成ホルモン(LH) アルドステロン テストステロン 遊離サイロキシン(FT <sub>4</sub> ) 抗グルタミン酸カルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体) 遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> ) コルチゾール サイロキシン結合グロブリン(TBG) サイログロブリン 脳性Na利尿ペプチド(BNP) サイロキシン結合能(TBC) 脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP) カルシトニン ヒト胎盤性ラクトゲン(HPL) ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量 ヒト絨毛性ゴナドトロピン- $\beta$ サブユニット(HCG- $\beta$ ) ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量 グルカゴン	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX) 酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b) プロゲステロン 骨型アルカリホスファターゼ(BAP) 遊離テストステロン 低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC) インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP) オステオカルシン(OC) I型コラーゲン架橋C-テロペプチド- $\beta$ 異性体( $\beta$ -CTX)(尿) セクレチン 低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量 I型コラーゲン架橋C-テロペプチド- $\beta$ 異性体( $\beta$ -CTX) I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP) サイクリックAMP(cAMP) エストリオール(E <sub>3</sub> ) エストロゲン半定量 エストロゲン定量 副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP) 副甲状腺ホルモン(PTH) カテコールアミン分画 デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)	エストラジオール(E <sub>2</sub> ) 副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP) デオキシピリジノリン(DPD)(尿) 17-ケートジェニックステロイド(17-KGS) 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH) カテコールアミン 17-ケートステロイド分画(17-KS分画) エリスロポエチン 17 $\alpha$ -ヒドロキシプロゲステロン(17 $\alpha$ -OHP) 抗IA-2抗体 プレグナンジオール 17-ケートジェニックステロイド分画(17-KGS分画) メタネフリン 心房性Na利尿ペプチド(ANP) メタネフリン・ノルメタネフリン分画 ソマトメジンC 抗利尿ホルモン(ADH) プレグナントリオール ノルメタネフリン インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)
●3項目以上5項目以下 6項目又は7項目 8項目以上	410点 623点 900点	

## ■腫瘍マーカー(◎)

癌胎児性抗原(CEA)  
 α-フェトプロテイン(AFP)  
 組織ポリペプチド抗原(TPA)  
 扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)  
 DUPAN-2  
 NCC-ST-439  
 CA15-3  
 前立腺酸フォスファターゼ抗原(PAP)  
 エラスターゼ1  
 前立腺特異抗原(PSA)  
 CA19-9  
 CA72-4  
 SPan-1  
 シアリルTn抗原(STN)  
 神経特異エノラーゼ(NSE)  
 塩基性フェトプロテイン(BFP)  
 PIVKA-II半定量

PIVKA-II定量  
 核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿)  
 シアリルLe<sup>x</sup>-i抗原(SLX)  
 CA125  
 核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)  
 サイトケラチン8・18(尿)  
 遊離型PSA比(PSA F/T比)  
 BCA225  
 抗p53抗体  
 シアリルLe<sup>x</sup>抗原(CSLEX)  
 I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP)  
 SP1  
 サイトケラチン19フラグメント(シフラ)  
 ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)  
 CA54/61  
 癌関連ガラクトース転移酵素(GAT)  
 CA602

α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)  
 γ-セミノプロテイン(γ-Sm)  
 ヒト精巢上体蛋白4(HE4)  
 可溶性メソテリン関連ペプチド  
 癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液)  
 癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液)  
 HER2蛋白  
 可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R)

◎2項目 230点  
 3項目 290点  
 4項目以上 420点

## ■肝炎ウイルス関連検査(▲)

HBs抗原定性・半定量  
 HBs抗体定性  
 HBs抗体半定量  
 HBs抗原  
 HBs抗体  
 HBe抗原  
 HBe抗体  
 HCV抗体定性・定量

HCVコア蛋白  
 HBc抗体半定量・定量  
 HA-IgM抗体  
 HA抗体  
 HBc-IgM抗体  
 HCVコア抗体  
 HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体定性  
 HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体半定量

HE-IgA抗体定性  
 HCV血清群別判定  
 HBVコア関連抗原(HBcrAg)  
 デルタ肝炎ウイルス抗体  
 HCV特異抗体価  
 HBVジェノタイプ判定

▲3項目 290点  
 4項目 360点  
 5項目以上 447点

## ■自己抗体検査(△)

抗Jo-1抗体定性  
 抗Jo-1抗体半定量  
 抗Jo-1抗体定量  
 抗サイログロブリン抗体  
 抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体  
 抗RNP抗体定性  
 抗RNP抗体半定量  
 抗RNP抗体定量

抗Sm抗体定性  
 抗Sm抗体半定量  
 抗Sm抗体定量  
 抗SS-B / La抗体定性  
 抗SS-B / La抗体半定量  
 抗SS-B / La抗体定量  
 抗Scl-70抗体定性  
 抗Scl-70抗体半定量  
 抗Scl-70抗体定量

抗SS-A / Ro抗体定性  
 抗SS-A / Ro抗体半定量  
 抗SS-A / Ro抗体定量  
 C<sub>1</sub>q結合免疫複合体  
 抗RNAポリメラーゼⅢ抗体  
 抗ARS抗体  
 抗MDA5抗体  
 抗TIF1-γ抗体  
 抗Mi-2抗体

△2項目 320点  
 3項目以上 490点